



## 第10回アジア・ スマートシティ会議

2021年10月26日～28日

カーボンニュートラルの実現に向けた  
都市間連携によるスマートシティ  
～コロナ時代の展望～

# 第10回アジア・スマートシティ会議 プログラム概要

第1版(2021年10月11日)

2021年10月26日(火曜日)～28日(木曜日)

テーマ型ウェビナー：26日・27日

ネットワークイベント：27日・28日

本会議：28日

横浜市



Tokyo  
Development  
Learning  
Center



## 開催日時

2021年10月26日(火)～28日(木)

10月26日 13時00分～16時30分

10月27日 13時00分～16時30分

10月28日 10時30分～17時30分

## 主催等

- 主催：横浜市
- 共同運営：アジア開発銀行研究所(ADB)、世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)
- 後援(予定)：内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省、国際協力機構(JICA)、地球環境戦略研究機関(IGES)、スマートシティ・インスティテュート(SCI-J)、シティネット、横浜市立大学

## 全体テーマ

カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～

## 背景/ビジョン

私たちは「スマートシティ開発」を、持続可能な都市づくりであると考えています。私たちの目指すスマートシティ開発とは、バランスの取れた持続可能な開発を推進し、公民連携によって生み出された様々な革新的技術を活用することにより、市民の生活の質を向上させるまちづくりです。

アジア・スマートシティ会議(Asia Smart City Conference)(以下、「ASCC」という。)は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に集まり、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う国際会議です。この会議では、各都市の代表者から提示される都市課題や成長へのビジョン、民間企業や学術機関による革新的ソリューションの提案、及び公民連携を資金面で支援する国際機関の施策など、世界の様々な知見(ベストプラクティス)が共有され、参加者が新しいビジネスチャンスを発見できる場も提供しています。

第10回目となる今回は、「カーボンニュートラルの実現に向けた都市間連携によるスマートシティ～コロナ時代の展望～」をメインテーマに掲げています。アジアにおけるスマートシティ開発の情報のハブとしての役割を高めるとともに、オンラインを活用したビジネスマッチングを実施するなど、広くキープレイヤーの出会いの場を提供し、経済・社会・環境的に持続可能な都市づくりに向けて、ビジネス機会の一層の創出を目指します。

また、横浜市は、いち早く2050年までの脱炭素化を宣言し、多様なステークホルダーと連携し、様々な取組を展開しています。ASCCにおいても、カーボンニュートラルやSDGsなどの国際社会共通の目標の達成への貢献を目指します。

<参考：連携開催イベント>

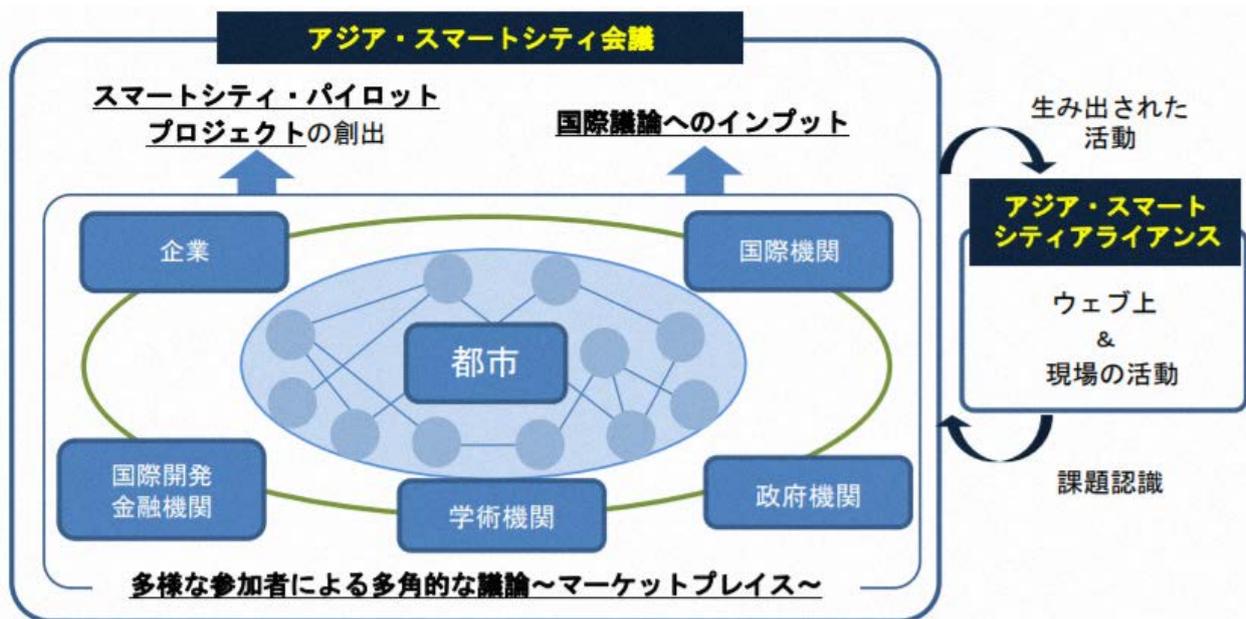
- 2021年10月16日(土)：横浜市立大学等 International Academic Consortium Steering Committee (IACSC) 横浜大会
- 2022年1月中旬：横浜市他 アジア・スマートシティ会議フォローアップイベント

## 会議の特徴

第10回 ASCC の目的と期待されるインパクトは以下のとおりです。

- 1) 海外の持続可能な都市開発に関する情報・人が集まるマーケットプレイスの構築、ビジネス機会の創出  
～翻訳的適応とイノベーション・ソリューションの共創～
- 2) カーボンニュートラル・SDGs など国際社会の目標達成に向けた発信
- 3) 都市課題解決に向けたナレッジハブとしての進化・高機能化

## ASCC の主な取り組み



## プログラム表

日付	時間	チャンネル 1	チャンネル 2	ネットワークイベント
10月26日	午後	<<都市ソリューション・ウェビナー>>	-	-
10月27日	午後	<<循環経済ウェビナー>>	-	バーチャル展示会
<< 本会議 >>				
10月28日	午前	イントロダクション 横浜市国際局		バーチャル展示会
		SDGs 及び New Urban Agenda 実現に向けた今後の都市づくりへの学生提案 横浜市立大学、CITYNET 横浜プロジェクトオフィス	スタートアップとの連携によるスマートシティ及びサステナビリティの促進 横浜市海外事務所(ニューヨーク、フランクフルト、ムンバイ)	
		VLR(自発的自治体レビュー):都市の変容を加速化する 地球環境戦略研究機関(IGES)	日欧アジアのスマートシティ 地域を越えた共創の実現に向けて スマートシティ・インスティテュート	
	午後	主催者挨拶・キーノートスピーチ		
		低炭素で強靱な社会を実現するスマートな都市ソリューション アジア開発銀行(ADB)、アジア開発銀行研究所(ADBI)	横浜からお届けする新しい都市開発について YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA)	
		ゼロカーボン社会の実現に向けた都市間協力 横浜市温暖化対策統括本部・国際局	持続可能な都市をデザインする低炭素化の取組 世界銀行東京開発ラーニングセンター(TDLC)	
	クロージングセッション ~横浜宣言~			

## 10月26日(火) 都市ソリューション・ウェビナー

横浜市では、これまで、自都市の都市開発及びアジアをはじめとする海外諸国の都市開発への協力を通して、都市計画、建築、エネルギー・環境、水処理、廃棄物処理、通信等、様々な高度な技術・ソリューションを蓄積してきました。

本ウェビナーは「都市ソリューション・ウェビナー ～サステナブルでスマートな都市開発を加速する横浜ソリューション～」と題して、横浜市及び日本を代表するスマートシティ・カーボンニュートラル・循環経済に関する技術・ソリューションを有する企業が、それぞれの強みや海外展開の展望についてプレゼンテーションを行います。

また、基調講演として、欧州のスマートシティをリードする都市のひとつであるバルセロナ市のスマートシティ担当部局からご講演をいただきます。

## 10月27日(水) 循環経済ウェビナー

第9回 ASCC での廃棄物管理セッションにおいて、アジアの地方自治体が新たに直面している一つの課題が話題になりました。それは、COVID-19 感染拡大のための個人用保護具（PPE）のごみが急増している一方で、感染性廃棄物の適切な回収と適切な処理ルートが十分に確立されていない事例が見られることです。議論においてフィリピンのマンガウエ市長の強いリーダーシップのもとでの対策が紹介されました。そこで、本セッションでは、第9回の議論をフォローアップし、マンガウエ市のその後の状況をご紹介頂くとともに今後の更なる対策について議論します。

また、循環経済に関する最新のトピックを共有するため、アジア開発銀行研究所等の主催会議等を放映します。

### 【登壇者】

#### <モデレーター>

IGES-UNEP 環境技術連携センター Deputy Director Premakumara Jagath Dickella Gamaralalage 氏

#### <スピーカー>

マンガウエ市 Head, City Environment and Natural Resources Office Araceli G. Barlam 氏

マンガウエ市 Solid Waste Management Focal Person for City Environment and Natural Resources Office Angelica Alcantara 氏

株式会社グーン専務取締役兼フィリピン支店長 小西 武史氏

## 10月28日(木) 本会議

## チャンネル1

10:30 - 10:35	イントロダクション
---------------	-----------

【登壇者】 横浜市国際局

## チャンネル1

10:40 - 11:40	<b>テーマ別セッション1</b> <b>横浜市立大学・シティネット セッション</b> <b>SDGs 及び New Urban Agenda 実現に向けた今後の都市づくりへの学生提案</b>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

SDGsを受けて、持続可能な都市（サステイナブルシティ、スマートシティ）の実現のための New Urban Agenda が取りまとめられています。この実現には、属性・世代をまたいだ多くの主体の取り組みや、各国のみならず国際連携による知識と技術、取り組みのノウハウ共有が必要です。

横浜市立大学は東南アジア各国の大学と IACSC（International Academic Consortium for Sustainable Cities）を設立し学術交流を進めてきました。2021年度横浜大会（10月16日）の開催にあたって、国際学生フォーラムを開催し、持続可能な都市づくりに対する学生提案をとりまとめます。本セッションではその成果を発表し、国際連携や各主体の立場から実現の要件や課題などを議論します。

## 【登壇者】

## &lt;オープニング・リマーク&gt;

横浜市立大学 副学長 中條 祐介氏

## &lt;モデレーター&gt;

横浜市立大学 グローバル都市協力研究センター特任助教 大森 文彦氏

## &lt;学生フォーラムの概要説明&gt;

横浜市立大学 教授 鈴木 伸治氏

IACSC 学生フォーラム参加学生（3グループより提案報告）

## &lt;コメンテーター&gt;

マカティ市 都市開発局長 Merlina G. Panganiban 氏

横浜市 国際局 国際政策部担当部長 武木田 雅大

## チャンネル2

10:40 - 11:40	<b>テーマ別セッション2</b> <b>横浜市海外事務所（ニューヨーク、フランクフルト、ムンバイ）セッション</b> <b>スタートアップとの連携によるスマートシティ及びサステナビリティの促進</b>
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

変動性、不確実性、複雑性、曖昧性（VUCA）の時代において、新しい技術とソリューションを提案するスタートアップが次々と生まれており、スマートシティやサステナビリティの分野においてもその存在感を増しています。そこで、スマートシティ開発、そして持続可能な開発のために、“企業及び都市はグローバルなスタートアップといかに連携できるか”など、スマートシティやサ

ステナビリティにかかるスタートアップ、企業、行政との連携を手掛けるグローバルなスタートアップ支援の専門家によるディスカッションを行います。

【登壇者】

<イントロダクション>

横浜市 米州事務所 副所長 谷澤 寿和

<基調講演>

タイ工業省 産業振興局 副局長 Passakorn Chairat 氏

<モデレーター>

横浜市 米州事務所 プロジェクト・コーディネーター ニコライ・ミュース

<パネリスト>

スクラムスタジオ株式会社 代表取締役社長 高橋 正巳氏

PDIE Group Founder Christian Schmitz 氏

株式会社グローバル DX 代表取締役社長兼 CEO 疋田 彰宏氏

チャンネル 1

11:45 – 12:45	<b>テーマ別セッション3</b> <b>地球環境戦略研究機関（IGES）セッション</b> <b>VLR（自発的自治体レビュー）：都市の変容を加速化する</b>
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

2018年に世界で初めての自発的自治体レビューレポートが発表されて以降、VLRを巡る動きが加速しています。UNHABITATとUCLGが発行している「自発的自治体レビュー」の第二巻によれば、これまでに発刊されたVLRの数はすでに100を超えています。また、2021年7月に開催された国連持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム（HLPF）では、「VLR」が閣僚宣言にも盛り込まれました。

VLRは、地域レベルのステークホルダーの参加や地域のイノベーションを促し、都市がより持続可能になるための変容の一助となる枠組みとして認識されています。このセッションでは、特に新型コロナウイルスからの復興の文脈における、持続可能でレジリエントな都市開発におけるVLRの役割、そして都市間による相互の学びを通じて、VLRがどのようにアジア地域でさらに進展していけるかについて議論します。

【登壇者】

<オープニング・リマーク>

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES） 理事長 武内 和彦氏

<モデレーター>

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）都市タスクフォースプログラムディレクター 片岡 八東氏

<スピーカー>

内閣府 地方創生推進室 参事官補佐 宮里 潤氏

都市・自治体連合（UCLG） アジア太平洋地区事務局長 ヘルナディア・チャンドラデヴィ氏

ブルッキングス研究所 持続可能な開発センター グローバル経済と開発シニアフェロー アンソニー・F・ピパ氏

<リアクター>

横浜市 国際局 グローバルネットワーク担当理事兼米州事務所長 赤岡 謙

## チャンネル2

11:45 – 12:55	<b>テーマ別セッション4</b> <b>一般社団法人スマートシティ・インスティテュート セッション セッション</b> <b>日欧アジアのスマートシティ 地域を越えた共創の実現に向けて</b>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

アジアの都市においてスマートシティ構築に向けたプロジェクトが既に開始されています。日本としてはアジア、欧州とも共創し、日本のスマートシティの強み（脱炭素、データの利活用、モビリティ等を実現する技術、循環経済等の市民を中心とした住みよい街づくり）を活かし、スマートシティをパッケージとして提案し、PPPのビジネスモデルの高度化を図る必要があります。

脱炭素への取り組みで先行し、市民の Well-Being を中心においたスマートシティを実現している欧州の事例や、気候危機、人口増加、自然環境破壊といった世界共通課題への対応を共有のうえ、日欧アジアでの地域を越えた協働機会を探ることを目的とします。

## 【登壇者】

## &lt;モデレーター&gt;

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan） 専務理事 南雲 岳彦氏

## &lt;パネリスト&gt;

内閣府 地方創生推進事務局 企画調整官 松野 憲治氏

つくば市 政策イノベーション部長 森 祐介氏

Open & Agile Smart Cities (OASC) Chair Martin Brynskov 氏

SmartCT Executive Director and Chief Sustainability Officer Kris V. Libunao 氏

12:55 – 13:30	休憩
---------------	----

## チャンネル1

13:30 – 13:50	主催者挨拶・キーノートスピーチ
---------------	-----------------

主催者挨拶：横浜市長 山中 竹春

ゲスト・キーノート：国土交通省 海外プロジェクト審議官 横田 正文氏

共同運営者挨拶：アジア開発銀行 持続的開発・気候変動局 局長 ブルーノ・カルスコ氏

共同運営者挨拶：世界銀行 都市・防災・強靱性・土地グローバルプラクティス グローバルディレクター サメ・ワーバ氏

## チャンネル1

14:00 – 15:00	<b>テーマ別セッション5</b> <b>ADB・ADBII セッション</b> <b>低炭素で強靱な社会を実現するスマートな都市ソリューション</b>
---------------	------------------------------------------------------------------------------------

国や都市には、環境にやさしく、競争力があり、包括的で強靱な未来を実現するために、必要な介入とそれに伴う効果的な対応策を講じるかつてない機会が訪れています。低炭素で強靱な回復策を講じることで、経済的妥協や総投資の増加を必要とすることなく、経済的利益を生み出し、雇用を創出し、食料とエネルギーの安定性を高め、多くの健全な利益を共有することができます。テクノロジー、統合計画、グリーン投資などのスマートな都市ソリューションは、この復興の道のりへの貢献を可能とします。

アジア開発銀行（ADB）は、パリ協定を念頭に置き、すべてのプロジェクト活動が低炭素で気候変動に強い発展の道のりを前進させるものであること、また少なくともパリ協定の目標に影響を及ぼさないことを約束しました。

アジア開発銀行（ADB）、自治体、民間セクターの専門家たちと、私たちがどのように低炭素で強靱なカーボンニュートラルな未来とスマートシティ開発を共に実現できるのか話し合いました。

## チャンネル2

14:00 – 15:00	<b>テーマ別セッション6</b> <b>YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA)セッション</b> <b>横浜からお届けする新しい都市開発について</b>
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

これまで横浜市ならびに市内企業群は Y-PORT 事業を通じて、横浜市の都市間連携のもと新興国にある様々な都市課題に提案、事業進出を進めてきました。一方で近年の ASEAN 諸国等の経済発展は目覚ましいものがあります。各国に有力な現地民間事業者が現れ、現地行政機関に代わって、民間主導で都市開発を進める事例も多数見られ、すでに大きなパラダイムシフトが起こっています。

私たちは上記のような状況に対して、横浜市内企業を中心に結成された一般社団法人です。横浜市とは連携協定を締結し、行政に蓄積された都市開発・運営の知見を、民間の有する技術・サービスとともにお届けし、日本の先進的なライフスタイルを海外にも展開することを目指しています。このセッションでは私たちの強みである「優れた都市計画」「行政の開発・運営ノウハウ」「それらを支えるスマート技術」の3つをそれぞれの代表から紹介させていただき、カーボンニュートラル、SDGs 時代の新しい都市開発について国内外の皆さまと議論します。

## 【登壇者】

## &lt;モデレーター&gt;

一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) 顧問 山口 泰広氏

## &lt;プレゼンター&gt;

JFE エンジニアリング株式会社（YUSA 会員） 海外管理部部長 官民連携推進グループマネージャー 高橋 元氏

日本工営株式会社（YUSA 会員） コンサルティング事業統括本部 開発計画部 部長 平野 邦臣氏

横浜市 国際局 国際協力部長 折居 良一郎

## チャンネル 1

15:05 – 16:05	<b>テーマ別セッション7</b> <b>横浜市温暖化対策統括本部・国際局セッション</b> <b>ゼロカーボン社会の実現に向けた都市間協力</b>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------

パリ協定の目標達成に向け 2050 年までの脱炭素化を目指す動きは、数多くの国・都市が共有する世界的な潮流となっています。日本においても、様々なセクターが 2050 年までの脱炭素化に向けた動きを加速化させています。

このセッションにおいては、脱炭素社会を実現するために、規模、地域特性といった背景の違う様々な都市・地域が協力し、知見を共有していくことや、こうした都市と都市の連携を世界に広げていくことの重要性について議論します。また、都市における脱炭素化が投資環境整備として持つ意義について議論することを目的としています。

## 【登壇者】

## &lt;モデレーター&gt;

一般社団法人海外環境協力センター（OECC） 理事 加藤 真氏

## &lt;プレゼンター&gt;

タイ国温室効果ガス管理機構（TGO） 能力開発・支援室 室長 Thawachai Saengkhamasuk 氏

バンコク都 環境局 局長 Wirat Manassanitwong 氏

環境省 地球環境局 国際連携課 国際協力・環境インフラ戦略室 室長 杉本 留三氏

横浜市 温暖化対策統括本部 副本部長 奥野 修平氏

三井住友銀行 ホールセール統括部 サステナブルビジネス推進室 室長 金子 忠裕氏

## チャンネル 2

15:05 – 16:05	<b>テーマ別セッション8</b> <b>世界銀行セッション</b> <b>持続可能な都市をデザインする低炭素化の取組</b>
---------------	-----------------------------------------------------------------------

都市の高密度化は、生産性の向上と（都市住民の）所得の増加につながる社会環境を整えましたが、同時に、持続可能な開発への道を阻む新たな都市問題をもたらしました。このような背景から、今日世界を牽引する都市は、持続可能な開発への関与を強化し、国連の SDGs やパリ協定の目標を達成するための戦略を採用しています。途上国でも、持続可能な都市を設計するために、低コストでインパクトのある技術を活用したスマートソリューションの利用が広がっています。しかし、こうしたソリューションを強靱で包摂的な成長へとつなげていくためには、入念な計画と調整が必要だと考えられています。

## セグメント 1：スマートシティの発展における世界銀行の役割

- 世界銀行グローバル・スマートシティ・パートナーシップ・プログラム（GSCP）の視点から、世界のスマートシティの現状を把握する
- GSCP の経験から得た、スマートシティの開発や取り組みを支援するための教訓

## セグメント 2：脱炭素社会に向けてのスマートソリューション

- 日本の事例として、横浜市、富山市、北九州市が、それぞれの都市におけるスマートソリューションについて発表

【登壇者】

セグメント1

<モデレーター>

世界銀行 上級都市専門官兼 TDLC チームリーダー ビクター・ムラス氏

<パネリスト>

世界銀行 上級都市開発専門官 チェ・ナレ氏

セグメント2

<モデレーター>

世界銀行 上級都市専門官兼 TDLC チームリーダー ビクター・ムラス氏

<パネリスト> 発表順未定

北九州市 環境局 環境国際部長兼アジア低炭素化センター 担当部長 有馬 孝徳氏

富山市 企画管理部 未来戦略室 室長 青山 哲也氏

横浜市 温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課 プロジェクト推進課長 岡崎 修司

16:05 – 16:20

休憩

チャンネル1

16:20 – 17:30

クロージングセッション ～横浜宣言～

2012年に始まったアジア・スマートシティ会議を10年単位で振り返ることで、都市を取り巻く環境の変化や、それに応じた都市の在り方の変遷を確認します。そして、第10回会議での議論を振り返り、今後都市に求められる役割・機能・可能性等について有識者で議論し、横浜宣言としてとりまとめ発信します。

<横浜宣言>

横浜市長 山中 竹春

<モデレーター>

横浜市 国際局長 橋本 徹

<コメンテーター>

アジア開発銀行研究所 所長 園部 哲史氏

世界銀行 上級都市専門官兼 TDLC チームリーダー ビクター・ムラス氏

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート (SCI-Japan) 理事 南雲 岳彦氏

横浜市立大学 教授 鈴木 伸治氏

国際連合人間居住計画 (国連ハビタット) アジア太平洋地域代表 是澤 優氏

Y-PORT センター アドバイザー ビンドゥ・ロハニ氏

## バーチャル展示会場 10月27日(水)～28日(木)

本会議のテーマである、コロナ時代に対応したイベントのあり方のひとつの提示として、バーチャルプラットフォーム上に、展示会場を設営します。展示会場では、横浜市の都市ソリューションに関連する、市内企業、学術機関・研究機関、公的機関等が出展し、各組織の担当者が都市ソリューション情報を提供します。

ご参加の皆さまには、事前に登録したツアー時間に、バーチャル展示会場にご入室頂き、事務局のガイドによるツアーでバーチャル展示会場内にて各種情報交換や交流、さらにはビジネスマッチングにご参加いただけます。

定員に限りがございますため、ご希望の方は、ぜひ早めのご予約をよろしくお願いいたします。

日付	時間	部屋 1	部屋 2
10月27日 (水)	13:00 - 14:20	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー
	14:30 - 15:50	カーボンニュートラル	サーキュラーエコノミー
10月28日 (木)	10:00 - 11:20	カーボンニュートラル	スマートシティ
	11:30 - 12:50	カーボンニュートラル	スマートシティ
	13:30 - 14:50	サーキュラーエコノミー	スマートシティ
	15:00 - 16:20	サーキュラーエコノミー	スマートシティ



「横浜ランドマークタワー・ドックヤードガーデン」と「横浜赤レンガ倉庫」のバーチャル展示会場イメージ

## 会議システムにおける出展者や参加者間の交流について 10月26日(火)～28日(木)

10月26日～28日の3日間にわたるウェビナー・本会議では、会議システム上で出展者や登録参加者を検索することができます。検索は、キーワードや事業分野で行うことができますので、出展者や参加者の皆様には、マイページでプロモーションしたい情報を積極的に掲載ください。

アジアを中心とする新興国諸都市等、普段交流する機会のない、多様な機関からの出展者・参加者との新たな交流の機会を是非ご活用ください。

【お問い合わせ先】

横浜市国際局国際協力課 アジア・スマートシティ会議担当  
ki-asca@city.yokohama.jp TEL 045-221-1211



第10回アジア・スマートシティ会議のウェブサイトはこちらから

---

第9回アジア・スマートシティ会議報告書

【動画】<https://www.youtube.com/watch?v=DJEfSgw4ZAI>

【報告書】[https://yport.city.yokohama.lg.jp/pdf/ASCC\\_report\\_jp.pdf](https://yport.city.yokohama.lg.jp/pdf/ASCC_report_jp.pdf)

【動画】



【報告書】



詳細については

横浜 ASCC



---

本資料に掲載のプログラム内容や開催時間は、予告なく変更する場合があります。  
予めご了承頂きたいお願い申し上げます。